

NEC

iStorage NS14PW

Startup Guide

スタートアップガイド

Microsoft
Windows
Storage Server

856-120217-154-A
2005年 8月 初版

はじめにお読みください
箱を開けてからサーバが使えるようになる
までの手順を説明します。このスタート
アップガイドに従って作業してください。

安全に関するご注意
装置をセットアップする前に
「ユーザーズガイド」の
「安全にかかわる表示について」
「使用上のご注意」
一必ずお読みくださいー
をお読みの上、注意事項を守って
正しくセットアップしてください。

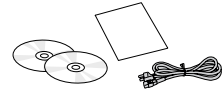
警告
● ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電するおそれがあります。
● 雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。
落雷による感電のおそれがあります。
● ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

注意
● 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の
当たる場所に設置しないでください。
● 装置に添付されている電源コード以外を使用しないで
ください。
● 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してくだ
さい。
● 電源コードはタコ足配線にしないでください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認し
てください。

- 本体
- 電源コード(1本)
- スタビライザ
- お客様登録申込書
- スタートアップガイド
(本書)
- ソフトウェアパッケー
ージ式*1
- 保証書
(本体梱包箱に貼り付
けられています)
- ユーザーズガイド*2



添付のCD-ROMやDVD-ROMは、再セット
アップの時に必要となりますので大切に保管
しておいてください。

- *1 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェ
アパッケージ内の構成品を参照してください。
- *2 ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER (SE)」JCD-
ROM内に格納されています。これを参照するには、
Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使
用のPCへインストールしておいてください。

Step 5 初期設定をする

管理ツールWebUIを使用できるようにするために、
本装置の初期設定を行います。



出荷時にパスワードが設定されています(出荷時
のパスワードについては、本装置に添付されてい
るスタートアップガイドに記載されています)。

本体内部のLANポート1に割り当てる情報として、
「コンピュータ名」、「IPアドレス*」、「IPアドレス用
のサブネットマスク*」を用意してください。

* IPアドレスとサブネットマスクは、設定およびWebUI
に使用するWindowsマシンと同じネットワークになる
値にしてください。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワ
ーク上にあるWindowsマシン(Windows XP/
Windows 2000/Windows Server 2003/
Windows NT 4.0)と添付のEXPRESSBUILDER
(SE) CD-ROMを使用します。



詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照
してください。初期設定ツールを起動せずにヘル
プを参照したい場合は、以下のファイルを開いて
ください。

「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMの
¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

- ① 任意のWindowsマシンのCD-ROMドライブに
EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをセットする。

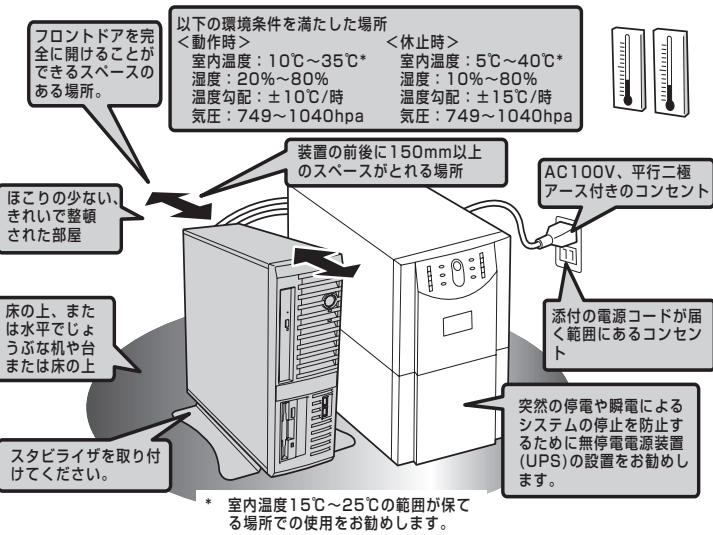
Autorun機能によりメニューが自動的に表示されま
す。表示されない場合は、CD-ROMドライブ内の
「¥MC¥1ST.EXE」を実行してください。

Step 2 適切な場所に設置する

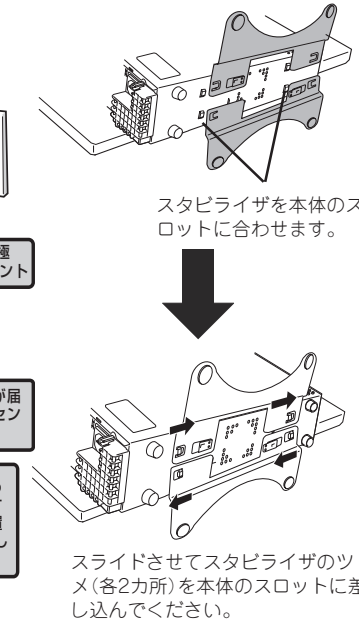
本体の設置場所を決めます。



「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照し
てください。



スタビライザ(添付品)の取り付け方



引き続きシステムのセットアップをします。
裏面をご覧ください。

Step 3 ケーブルを接続する

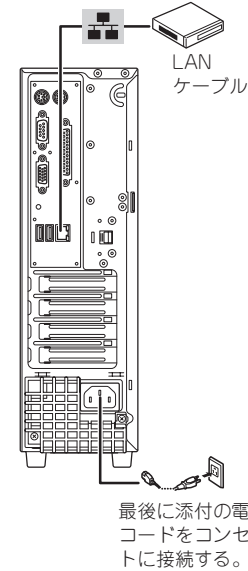
ケーブルを本体背面にあるコネクタに接続します。



「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。



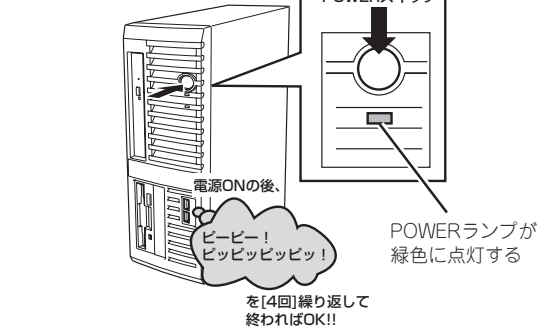
- 本装置に接続するケーブル
は、LANケーブルと添付の電
源コードのみです。その他の
ケーブルを接続する必要はあ
りません。PCIスロットにオ
プションのNICを取り付けて
いるときは、まず本体のLAN
ポートコネクタのみに接続し
て初期設定を行い、設定完了
後に残りのコネクタに接続し
てください。残りのコネクタ
に接続するときは、PCIス
ロット番号の小さい順に接続
してください。
- 本装置への各種オプションの
取り付け・取り外しは、本
書で示すセットアップが完了し
た後に行ってください。



Step 4 電源をONにする

電源をONにします。

- ① 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境
として使用するHUBにLANケーブルが接続され
ていることを確認する。
- ② POWERスイッチを押して、システムの電源を
ONにする。



システムの起動後、ビーブ音のパターン(ビー
ブ音を2回長く4回短く)を4回繰り返したら、
正常に起動したことになります。

- ⑤ WebUI起動の表示が「確認中」から「可」または「不可」になったら、本装置を選択し、[設定変更]をクリックする。

設定変更画面が表示されます。



DHCPサーバが存在する場合、
WebUI起動が「可」となり、
「WebUI」を使って設定を変更する
ことができます。コンピュータ名
(WebUI上はサーバー名)などの設
定はWebUIで[ネットワーク]→
[識別]の順に選択して開いた
「サーバーID」で行います。このと
きに通常使用するブラウザの設定
は、「Internet Explorer 6.0以
降」にしておいてください。



- ⑥ [コンピュータ名]欄にコンピュータ名を入力する。



ネットワーク上に同一のコンピュータ名を持つマシンが存在すると、設定
変更後の再起動ができなくなります。コンピュータ名が重複していないこ
とを確認してください。

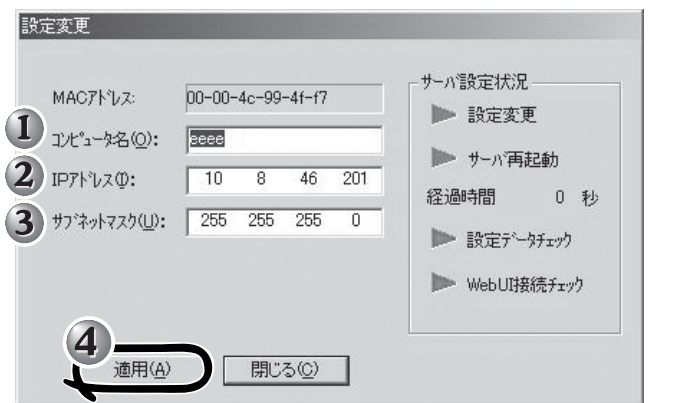
- ⑦ [IPアドレス]欄にIPアドレス、[サブネットマスク]欄にサブネットマスクを入力する。



- IPアドレスの設定に間違いがあると、設定変更後の再起動や、管理
ツール「WebUI」からの接続ができない場合があります。IPアドレスに
誤りがないことを確認してください。
- 設定するIPアドレス/サブネットマスクは、初期設定ツールを動作させ
ているマシンと同一ネットワークになるように設定してください。

- ⑧ [適用]をクリックする。

- ⑨ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。



サーバ設定の変更が始まり、サーバ設定状況の内容が順次更新されま
す。

- ⑩ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

以上で、本装置の初期設定が完了し、WebUIでの管理ができる
状態になりました。



初期設定ツールにおいて、設定変更ができないなどの問題が
発生した場合は、初期設定ツールのヘルプの「トラブル
シューティング」を参照してください。



